1 EH-0#-	_ \= +n											
1. 団体の基本												
団体名	(公財		具生活衛生営業		設立年月日	昭和5	9年3月19日					
所在地	福岡市博多区千代1丁目2番4号											
出資総額		10,000千円				出資額	出資割合					
県出資額			4,000千円		各生活衛生同美	業組合	6,000千円	60.0%				
県出資割合				40.0%								
設立目的等	係営業 擁護を	の健全化		じてその衛生z			、福岡県における て利用者又は消					
主要事業の内容	~											
事業名			事業内容									
		衛生関係営業に関する衛生施設の維持及び改善向上や経営の健全化についての相談、指 情の処理、情報収集、提供等を行う。										
標準営業約款登録普 及促進事業 ク)の		消費 ク)の	者が安心して利用の選択ができるよう、生活衛生関係営業者に標準営業約款(Sマー 登録を勧め、その普及促進を図り、消費者擁護に資する。									
		<ul><li>日本政策金融公庫からの資金融資の相談や生活衛生関係営業者が資金融資を受ける際となる推薦書の交付を行う。</li></ul>										
			Jーニング師及び業務従事者の資質の向上のため、クリーニング業法で3年に1回の受講が がけられている研修会を行う。									
受託調査事業			k) 日本政策金融公庫からの委託による「景気動向調査」及び「生活衛生営業活性化調 並びに厚生労働省からの委託による「生活衛生営業経営実態調査」を実施する。									
事業実績に関す	る情報	単位	H30	R1	R2	R3	R4	備考				
窓口相談		件	1, 463	1,457	1, 400	1,40	9 1,523					
地区相談(移動	動相談)	件	195	215	149	18	3 224					
推薦書交付		件	121	118	71	10	2 147					
受託調査事業		千円	1, 388	1,398	1, 427	1,42	6 1,428					
2. 団体の組織	哉・人員	情報										
代表者名 理事長 新井			<b>运分</b> 福岡県食鳥肉販売業生活衛生同業組合理事長 非常勤									
常勤役員名			* '	区分								
			H30. 4. 1	H31. 4. 1	R2. 4. 1	R3. 4. 1	R4. 4. 1	R5. 4. 1				
常勤役員数(多	<u>*</u> )		-	_	-			-				
常勤(	正規)		3名	3名	3名	2名	3 2名	2名				
職員数うち	プロパ		1名	1名	1名			-				
44. 貝数 嘱託 (常勤	か非常勤)	等・臨時	2名	2名	2名	34	3名	3名				
	合計		5名	5名	5名	5名	5名	5名				
3. 県関与の状況												
人的支援(常勤役職員再掲)(※)		H30. 4. 1	H31.4.1	R2. 4. 1	R3. 4. 1	R4. 4. 1	R5. 4. 1					
県 派 遣												
	県 O B		2名	2名	2名	24	3 2名	2名				
財政支出			H30	R1	R2	R3	R4	備考				
上		金	-									
貸			-									
	助・負担		45,682千円			46,199千円						
委			960千円	931千円		886千円	908千円					
4-①. 中期経	4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(R4~R8)											

県内の生活衛生関係営業の経営の健全化・振興等を通じて、衛生水準の向上を図るとともに、事業者の自主的活動 組織である生活衛生同業組合の健全な運営を確保し、利用者・消費者の利益擁護を図っていく。 運営にあたっては、経費節減、業務効率化、自主財源の確保に努める。 数値目標については、資金需要など他動的要素が強いため、少なくともコロナ禍以前の水準の維持を目標とすると ともに、活動内容・広報の充実に努めていく。

<sup>※</sup>役員改選を理由とする年度当初の一時的な減は、反映していない。

4-②. 中期経営目標における改善目標の達成状況										
改善目標の	目標達成に向けた具体的	指標		上段:計画 下段:実績					改善目標区分の達成に向けた	
区分(視点)	な取組、戦略等		単 位	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2022年度(R4)の取組状況
		☆□+□=火/+-米+	件		1,200				1,200	・窓口相談について、チラシ配布やHP等による周知に加え
	①生活衛生営業者への経営指導を行い、事業運営の安定を図る。	窓口相談件数		893	915					て、機関誌による情報発信を充 実したことにより増加している が、長期にわたる新型コロナウ
		相談室開設指導	件		1,100				1,100	イルス感染症の影響もあり目標 には達していない。 ・相談室開設指導については、
		件数		1, 141	883					開設数を30カ所から50カ所 に増やしたが、新型コロナウイ
事業活動・住 民サービス		推薦書交付相談件数	件		500				500	ルス感染症の影響により来場者 が減少した。 -
	   ②生活衛生資金貸付を推  進し、運営及び設備改善			618	755					・推薦書交付について、情報提供の充実を図った結果、相談件
	座り、屋呂及り設備以告 の資金強化を図る。	推薦書交付件数	件		110				110	数、交付件数ともに大幅に増加 した。 」
				102	147					・クリーニング師研修等については、電話による受講勧奨、会社単位での業務従事者講習を実
計画性公益性等	③クリーニング師の資質 向上と衛生水準の向上を	クリーニング師	率		18.5				20.0	施したが、受講率の増加にはい たらなかった。
4	図る。	研修の受講率		18. 1	16.6					価格競争が厳しいクリーニング 業界において、コロナ禍に加え 原油価格の高騰により、経営が
	   ④広報誌の発行回数を増   やし、センター事業の広		回/年		2				4	圧迫されたため、全国的に受講 率が低い状況となっている。ま
	報の充実を図る。			1	3					た、県が管理するクリーニング 師等の名簿について、廃業に伴 う名簿削除等整理がされていな
財務会計		研修受託収入	千円		700				900	いので、正しい受講率を把握で きない。そのため、県に対して 改善の要望を行った。
(57-14)	 ①研修受託収入の維持、   人件費及び県財政支出額			435	619					・研修受託収入については、新
経済性 効率性 等	の増加抑制に努める。	県財政支出額	千円		47,000				47,000	型コロナウイルス感染症感染防止を図るため、I型(座学式)とI型(通信式)の両方を実施
( , )		иму <b>л</b> им		47,085	47, 186					したことにより、収入額が計画 額を下回った。
内部管理	①ワークライフバランス の充実に向けた年休取得	年次休暇取得平 均日数	日/年		16.0				17.0	
健全性等	日数の向上	り口奴		15.8	17.5					

## 達成状況(まとめ)

- ・相談業務については、広報の充実に努めるとともに、地区相談等の開催回数を大幅に増やしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により相談室開設指導件数は減少した(新型コロナ関連の給付金等行政が取り組んでいる問い合わせは相談件数に含めていない)。引き続きチラシ配布やHP等による周知活動を行う。
- ・クリーニング師研修等については、県による勧奨及び名簿の整理が必要と考えており、引き続き県に対し要望を行っていく。 また、受講対象者に対しては、申込案内に加え、未申込者に対してさらに個別に電話で勧奨するなど、現在の受講者増のための取組を 続けていく。
- ・広報誌の充実については、効果が認められることから計画を前倒して、発行回数を増やしていきたい。

5. 経営状況(公益法人)						
項目	単位	H30	R1	R2	R3	R4
【貸借対照表】	•					
資産合計	千円	19,598	19,835	21,546	16, 739	16, 902
うち金銭債権	千円	-	-	228	_	-
うち特定資産	千円	3, 293	3, 451	3,609	_	_
負債合計	千円	4, 156	4, 189	5,805	621	516
うち借入金額	千円	-	-	_	_	_
うち県からの借入金額	千円	-	_	_	_	_
正味財産合計	千円	15, 441	15, 647	15, 741	16, 118	16, 386
県債務保証額又は損失補償額	千円	_	_	_	_	_
県損失補償債務残高	千円	-	-	_	_	-
団体債務保証額	书円	-	-	_	_	-
【正味財産増減計算書】 Sheet4	法人全体	本より転記				
経常収益 A	千円	50, 306	51, 163	50, 488	50,609	
うち県財政支出額 B	千円	46, 642	47, 031	47, 012	47, 085	47, 186
内訳:補助金・負担金	千円	45,682	46, 100	46, 100	46, 199	46, 278
内訳:委託料	千円	960	931	912	886	908
うち最も多額な項目	項目名	委託事業収入	委託事業収入	委託事業収入	委託事業収入	委託事業収入
	千円	2,673	2, 455	2,514	2,365	2, 217
経常費用 (	千円	50,480	50, 958	50, 393	50, 233	50,090
うち人件費総額 D	千円	26,807	27, 158	26,852	26,826	26, 436
評価損益等合計額 E	千円	_	_	I	I	_
経常増減額 F=(A-C+E)	千円	△ 174	205	95	376	268
経常外損益 G	千円	_	-	1	ı	_
法人税、住民税及び事業税 Ι	千円	_	_	1	1	_
当期一般正味財産増減額 J=(F+G)-	千円	△ 174	205	95	376	268
当期指定正味財産増減額 K	千円	-	-	-	-	_
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 し	千円	46,642	47, 031	47,012	47,085	47, 186
【財務指標】						
正味財産比率	%	78.8		73. 1	96.3	96.9
県財政支出率 (=B/A)	%	92.7	91. 9	93. 1	93.0	93.7
人件費率 (=D/A)	%	53.3	53.1	53. 2	53.0	52.5
収益事業比率	%	-	-	_	-	-
受託事業外注費比率	%	_	_	_	-	_
【団体毎の経営評価指標】						
研修受託収入	千円	1,077	836	-	-	619
人件費総額	千円	26, 807	27, 158	26,852	26,826	26, 436
【常勤役職員の報酬・給与に関する状況						
常勤役員平均年齡 - 常勤役員	平均年収	-	常勤職員平均年齢	64.7歳	常勤職員平均年収	5,286千円
【経営状況に関する各数値、指標の	増減理F	h)				

【経宮状況に関する各数値、指標の増減埋田】

経費削減に努めた結果、令和3年度に比して正味財産は増加している。

## 6. 団体(経営責任者)の自己点検評価

- ・窓口相談について、広報を充実した結果新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの相談件数は増加。引き続き チラシ、HP、広報紙等により周知を図っていく。 ・クリーニング師研修等について、業務従事者講習会の出前講習の実施等により、受講促進に努める。
- ・今後も安定的・効率的な運営を図るため一層の経費節減、効率化に努めていく。

## 外部専門家の意見

- ・生活衛生営業者に対する窓口相談件数は前年度から増加しているものの、中期経営目標における改善目標を下回っ
- ・生活衛生呂来有に対する思口相談件数は前年度が与指加しているものの、中期経営自標における改善自標を下回すている。また、相談室での指導件数は前年度から減少している。 ・生活衛生資金貸付に係る推薦書に関し、情報提供の充実などにより、交付相談及び交付件数とも前年度から増加し中期経営目標における改善目標を上回っている。 ・クリーニング師研修等において、受講者はある。 ・クリーニング師研修等における改善は表現の経済者はある。
- き続き受講者数の確保に向けた取組が求められる。
- ・公益財団法人として、不特定多数の利益を目的として実施することが求められており、団体から各業界団体へ補助 する事業については、生活衛生関係営業の健全化、振興等を通じて、衛生水準の維持向上及び利用者の利益擁護を図 ることが引き続き求められる。
- ・団体の設立目的の一つは、生活衛生関係営業の経営の健全化にあるが、対象となる事業者は、新型コロナウイルス 感染拡大の影響を最も受けている業種が多く、その経営はまだ厳しい状況にある。引き続き、設立目的達成に向けた 取組の強化が求められる。

## 8. 経営評価委員会による経営評価結果

- ・クリーニング師研修等について、受講者及び受講率を増やすための方策を検討されたい。
- ・税務相談等事業の参加者は地域によってばらつきがあるので、地域の実態に応じて参加者を増やすための方策を検 討されたい。
- (注)表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。

_	-②. 経営状況(内訳表)	774 / 1	1120	D4	D0	D2	D.4
7		単位	H30	R1	R2	R3	R4
	工作的库塔·威克克克 経常収益 A	千円	50, 306	51, 163	50, 488	50, 609	50, 359
	うち県財政支出額 B	抽	46, 642		47, 012	47, 085	47, 186
	内訳:補助金・負担金	书书	45, 682	46, 100	46, 100	46, 199	46, 278
>+	内訳:委託料	书书	960	931	912	886	908
法		項目名				委託事業収入	
슸	うち最も多額な項目	衎	2,673		2,514	2, 365	2, 217
主体	経常費用 (	书书	50, 480		50, 393	50, 233	50,090
14	うち人件費総額 D	书円	26, 807	27, 158	26,852	26, 826	26, 436
(T)	評価損益等合計額 [	千円	_	-	-	-	-
<u>\( \) \( \) \( \) \( \)</u>	経常増減額 F=(A-C+E)	千円	△ 174	205	95	376	268
3	経常外損益 G	千円	-	_	_	-	-
۳	法人税、住民税及び事業税 Ι	刊	_	_	_	_	-
	当期一般正味財産増減額 J=(F+G)-I	千円	△ 174	205	95	376	268
	// HOTE ナーエッチローナード/エルフ	衎	<u> </u>	203	-	570	200
			4/ /42	/IT 021	AD 012	4D 00E	/IT 10/
	正味財産増減額に含まれる県財政支出額 [	千円	46, 642	47, 031	47, 012	47, 085	47, 186
	経常収益を加える	<u>千円</u> 千円	40, 703 37, 974		40, 844	40, 894	40, 73
	うち県財政支出額 🗈 内訳:補助金・負担金	<u> 十円</u>	37, 974 37, 014		38, 275 37, 363	38, 331 37, 445	38, 462 37, 554
		千円	960		912	37, 445 886	908
<i>/</i> />		<u>干円</u> 項目名					
公益	うち最も多額な項目	衎	2,673	2,455	2,514	2,365	<del>女心事来427</del> 2,21'
目	経常費用 ①	摧	40, 812	41, 292	41,007	41, 018	40, 949
品的	うち人件費総額 🕦	抽	18, 498	18, 737	18, 525	18, 554	18, 284
事	評価損益等合計額 E①	+円	- 10, 470	- 10, 131	-	-	10, 20-
業	<u> </u>	+	△ 109	205	△ 163	△ 124	△ 21!
会	経常外損益 GO	千円	<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>
計	他会計振替額 H①	千円	_	_	_	_	
1							
	法人税、住民税及び事業税 I①	千円	۸ 100	205	۸ 1/2	A 124	- ۸ ۵۱۰
	当期一般正味財産増減額 J①=(F①+6①+H①)-I①	千円	△ 109	205	△ 163	△ 124	△ 215
	当期指定正味財産増減額 K①	千円		_	-	_	
	正味財産増減額に含まれる県財政支出額(①	千円	37,974	38, 286	38, 275	38, 331	38, 462
	経常収益 A2	千円		/			
	うち県財政支出額 82	押	/	/	/	/	/
	内訳:補助金・負担金	押	/	/	/	/	/
J-	内訳:委託料	刊	/	/	/	/	/
収	うち最も多額な項目	項目名	/ /	/	/	/	/
益		千円	/ /	/	/	/ /	/
事業	栓吊負用 (② うち人件費総額 D②	<u>十円</u> 千円	/ /	/	/	/ /	/
未		<u>十円</u> 千円	/ /	/	/	/ /	/
寸会	双学性说句 「多」(A) (A) (A)	千円	/ /	/	/	/ /	/
	経常増減額 F2=(A2-C2+E2) 経常外損益 G2	<u>干円</u> 千円	/ /	/	/	/	/
	性的 1.50 mm	十円	/	/	/	/	/
٠	に安可派目録 N型 法人税、住民税及び事業税 I②	十円	/	/	/	/	/
	当期一般正味財産増減額 J2=(F2+62+H2)-I2	揃	/	/	/	/	/
	当期指定正味財産増減額 K②	捕	/	/	/	/	/
	正味財産増減額に含まれる県財政支出額(②	书的	/	/		/	
	経常収益 A③	千円	9,603	9,666	9,644	9, 715	9, 62
	うち県財政支出額 B③	千円	8,668	8, 745	8,737	8, 754	8, 72
	内訳:補助金・負担金	千円	8,668	8, 745	8,737	8, 754	8, 72
	内訳:委託料	千円	-	-		- ++	
	うち最も多額な項目	項目名	賛助金収入	賛助金収入	<b>賛助金収入</b>	賛助金収入	賛助金収入
		刊	900	900	900	900	900
		千円	9,668	9,666	9, 386	9, 214	9, 14
法	経常費用 図		8,309	8, 421	8,327	8, 272	8, 152
人	うち人件費総額 🖂	千円	0, 309				
人会		千円	_				
人会計	うち人件費総額 🖂		6, 309 - △ 65	_ △0	258	- 501	483
人会計	うち人件費総額 D3 評価損益等合計額 E3 経常増減額 F3=(A3-C3+E3)	千円 千円	_		258 -	501 -	483
人会計	うち人件費総額 D3 評価損益等合計額 E3 経常増減額 F3=(A3-(3+E3) 経常外損益 G3	千円 千円 千円	_	_ 	258 - -	501 - -	48.
人会計	うち人件費総額 D3 評価損益等合計額 E3 経常増減額 F3=(A3-C3+E3) 経常外損益 G3 他会計振替額 H3	刊 刊 刊	_			501 - -	483
人会計	うち人件費総額 D3 評価損益等合計額 E3 経常増減額 F3=(A3-C3+E3) 経常外損益 G3 他会計振替額 H3 法人税、住民税及び事業税 I3	千円 千円 千円 千円	_	-	-	-	-
人会計	うち人件費総額 D3 評価損益等合計額 E3 経常増減額 F3=(A3-C3+E3) 経常外損益 G3 他会計振替額 H3 法人税、住民税及び事業税 I3 当期一般正味財産増減額 J3=(F3+G3+H3)-I3	刊 刊 刊 刊 刊	_		258 - - - 258	501 - - - 501	-
人会計③	うち人件費総額 D3 評価損益等合計額 E3 経常増減額 F3=(A3-C3+E3) 経常外損益 G3 他会計振替額 H3 法人税、住民税及び事業税 I3	千円 千円 千円 千円	_		-	-	483